

六泉寺町市営住宅等再編に伴う
オープンスペース等の利活用について

**【潮江南地域連合会（みなみ連合）ワークショップ
（R8.6.14開催）での意見】**

課題認識（アイスブレイクでの主な意見）

■団地の地域開放

- ・新しい団地ではオープンスペースを地域住民が利用できることは理解した。
- ・従来、地域住民は団地の中には入りにくい雰囲気がある。
- ・団地住民のプライベートな空間とオープンな空間の線引きやオープンスペースの利用に当たってのルール化が必要だろう。
- ・地域住民が広場を利用できるのであれば、東屋（四阿）など設けて、気楽に過ごせる場所にしてほしい。
- ・団地住民の高齢化が進んでおり、広場に地域の若い人が集まるのはよいのではないか。
- ・保育園では散歩で団地の空き地を使っている。

■災害に対する安全性

- ・津波のリスクがある地域に建て替える点に疑問があったが、1Fをピロティとすることで一定理解した。
- ・南海トラフの対策が大切。共助していけたらよい。
- ・津波の浸水が想定される地域なので、浸水対策が重要
- ・備蓄などは大事、浸水して使えなくなるようなことがないように、2階以上に備蓄などができるといい。

■みなみ連合のコミュニティ

- ・他地域と比べてコミュニティが濃い地域
- ・青少年育成協議会をはじめとして、取組に積極的
- ・一方で、負担に感じている人もいると思う。
- ・現役の子育て世代の参加が少ない印象がある。
- ・PTAもコロナ以降に参加者が減ってしまい、一部の人の負担が大きくなっている。活動自体が知られていない側面もある。

■子育て世帯の減少

- ・子育て世帯が減っており、保育園では定員確保が難しい。

■広場等でできると良いこと/あったら良い空間

- ・日常使いが前提の広場
- ・オープンスペースの活用では、ピロティの活用や、ドーム型の屋根など、雨の日も使える場所があるといい。
- ・子どもの遊び場や、高齢者も使える場所で、多世代交流が生まれるといい。
- ・そこにかまどベンチなどによって、防災の機能も組み合わせると安心
- ・簡単なボール遊びができる広場
- ・日除けができる場所が欲しい（木陰やパラソル等の日陰）

■広場の維持管理

- ・整備した際の維持管理はどうか、誰が担当するのが望ましいか。
- ・常設のものを整備するとメンテナンスが大変
- ・日常管理のしやすさが大切
- ・メンテナンスフリーな広場にするのが望ましい。
- ・動かせるベンチやパラソル等は維持管理しやすいのではないか。

■周知について

- ・整備したものをどのように地域に知ってもらうか。
（かまどベンチ等を整備するなら、それがあつことをどのようにみんなに知ってもらうか）

■連携のあり方

- ・市民活動センターのことをもっと知ってもらいたい。他の団体等とも連携しながら団地のオープンスペースに活動を広げられるといい。

オープンスペース等の活用方策 【テーマ：子ども・子育て】

問題意識

子どもの居場所のあり方

「交流の場所」
昔の駄菓子屋のような、
子どもが“大人”や“他
の子どもたち”と交流
ができる場所が必要

子ども食堂
のような
場所

「多様性を受け入れられる場所」
やんちゃな子など、それぞれの
個性をきちんと見てあげることが大事

活動主体のあり方

「継続性のある活動の軸」
多世代の交流やいろんな団体の連携は大事だが、
担当者が変わると形が変わったり、立ち
消えたりしてしまうことがある。
活動の軸が大事。

オープンスペースの使い方

日常の遊び

「保育園の散歩」
保育園等の子どもの日常的
な散歩で使いたい

「使い方のルール」
近隣の保育園同士でバッテ
ィングする時もあるため、
使い方のルールも必要かも

必要な時(非日常)の 使い方

「災害時の避難場所」
かまどベンチなど、普段から
使い方に慣れておく必要がある

「交流の場」
子ども食堂や小商い等による交
流の場

活動の主体

みなみ連合
潮江南コミュニティ推進市民会議

「竹島町内会」
加入者800世帯以上

「活躍の場」
定年後の団塊の世代
の方々の活躍の場

必要な設え

遊びの環境

水遊びがで
きる水場

日陰となる
ピロティや
屋根

避難場所

かまど
ベンチ

備蓄倉庫

小商い・交流

ピロティなどに使える場所があるといい
(春野東小学校の事例)
→子ども食堂などに利用

オープンスペース等の活用方策 【テーマ：防災】

考え方

「災害発生時」「平常時」それぞれの利用

「災害発生時」
一時避難場所として
津波避難ビルを利用

「平常時」
防災の啓発の場として
広場を利活用

津波避難ビル・広場の併設

「津波避難ビル」の足元に
「広場」があることが
地域防災にとって強みになる

「こども」「コミュニティ」が「防災」の入り口

課題 : 防災活動に人が集まらない
コミュニティ活動の低下が防災に及ぶ

解決の方向性 : こどもをいかに巻き込むか
こどもを通じて大人も関心を持つ

地域のとりくみ

避難訓練・防災イベント

団地の建物・施設を活用した訓練等
例：避難訓練（津波避難ビル）
例：炊き出し講習会（かまどベンチ）

子どもが関心を持つイベントの工夫
バーベキュー（かまどベンチ利用）
など、子ども向けのイベントから
始めて防災イベントに誘導する

防災啓発・防災展示

地域が作成した防災計画の周知
「潮江南地区防災計画」
「潮江南小学校区津波避難計画書」
（作成：潮江南防災連合会）

子どもが関心を持つ展示の工夫
例：キャラクターの使用

ルールづくり

広場・避難階段の使い方
・災害発生時の避難や平常時の避難訓練で避難階段を使用することを踏まえ、団地住民のプライバシーを守った使い方のルールを作成する。
・平常時における広場の利活用に当たりルールを定める。

「子ども・子育て」「地域交流・コミュニティ」の運営組織との連携

必要な設え

建物（津波避難ビル）

避難動線の工夫
・さまざまな方角から避難階段にアクセスしやすいようにする。
・避難階段と生活の階段を独立させ、団地住民のプライバシーを守る。

より高度な避難機能
例：屋上にヘリポート設置

防災設備

かまどベンチ
災害発生時は炊き出しに、平常時はバーベキューに使える

津波浸水への対処
水に浸かる場所に設置すると
災害時に使えない

防災・津波避難に関する情報掲示

防災啓発や防災学習のための
掲示板を広場に設置する
例：津波避難ビルの避難方法、
周辺地域の避難場所
例：防災啓発の展示
例：防災イベントの案内

オープンスペース等の活用方策 【テーマ：コミュニティ（1班）】

問題意識

地域コミュニティの問題

- 「町内の参加が少ない」
- ・町内会で取組をしても、参加者が少ない場合がある。
 - ・呼びかけだけでは参加が増えない
どうしたら繋がるか・・・

団地内コミュニティの問題

- 「町内外・団地内外の交流」
- ・高齢者が多く、孤独死も出ている。
 - ・他の町内会とも、町内会内でも交流が少ない（広場があれば他の町内会の人にも使ってもらえる）

- 「建替えまでのコミュニティ」
- ・再編に当たって引っ越した世帯も多く、町内会を今年度から休止している。
 - ・知り合いも減ってきており、建替えまでのコミュニティを支えることも大切

オープンスペースの使い方

年配の方向け

「青空将棋等を通じた集い」
将棋や健康麻雀など、みんなで集まるとよい（藤並公園の青空将棋のようなイメージ）

「発表する機会」
年配の方の活動を、発表する機会を年1回程度つくって交流する。
→子どもの参加のきっかけにもなる

「ラジオ体操」
町内会でスーパーの駐車場でラジオ体操をしているため、広場ができれば使えるとよい

「機運づくり」
広場が出来る前から機運をつくって行くといいのでは？
→子どもだけを対象にせず、高齢の方にも声がけする
→町内会の垣根を超えた取組にする

子ども向け

「読書の機会」
漫画本が置いてあって子どもが読めるとか

「きっかけづくり」
きっかけとなる機会をつくる必要がある

使ってもらうには場所だけでなく、きっかけづくりが必要！

必要な設え

緑や自然がある環境

みどりがある環境が良い

木陰があるといい

子どもが木登りできるくらいの中木があってもいいのでは

見守りやすい環境

小さい子は親の目が届きやすい設えが良い

オープンスペース等の活用方策 【テーマ：コミュニティ（2班）】

考え方

日常的・多世代・多目的に使いやすい広場

「多様な活動」
どんな活動でもできる
場所にしたい

「多様な世代の活動」
色々な世代が
使えるのが大切

「日常的に使われる場所」
・非日常的なイベント利用は、
他の場所でできるため、この
広場では非日常利用を考えな
くてもいいのではないかと
・日常的に使われる場所にしたい。

維持管理しやすい広場

「管理のしやすさ」
日常利用・非日常利用の
いずれにおいても、管理
や維持の負担が少ないも
のがいい

「柔軟な活用を支える設備等」
動かせるベンチやパラソル、
イベント時だけ敷く人工芝な
どポータビリティのあるもの
がいい

オープンスペースの使い方

小さなイベント

「小さくても自主的な活動」
各自が飲食物などを持ち寄り、
気軽に楽しめる場として活用

「小規模店舗等」
キッチンカーやマルシェなど

日常利用の場

「コミュニケーションのきっかけ」
日常的な利用をきっかけに、井戸端会議の
ような自然な交流・コミュニケーションが
生まれる（散歩やウォーキングなど）

「夜間でも安心して利用」
夜でも安心して活用できる場所をつくる・
夜のピクニック（上映会、お月見など）

地域行事・発表の場

「広場で発表の場（披露）」
よさこいの練習や獅子舞の披露
など

必要な設え

イベントに配慮した設え

トイレ・上水
が欲しい

車両乗り入れに対
応した舗装・動線

タイルやカラー
アスファルトの場所
→キッチンカーが
入りやすく、マルシェ
とかしやすい

日常利用に配慮した設え

ウォーキングコースとして
利用できる舗装を整備し、
中心には土の広場を設ける

フェンスがなく、オープン
でフラットな場がいい

維持管理に配慮した設え

おまち多目的広場のような可変的な広場

ポータビリティのある
ファニチャー

芝生を敷くこともできる

倉庫は必要